

競技注意事項

阪神中学生陸上競技記録会

1. 競技規則について

本大会は、2024年度（財）日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会規定によって行う。

2. 招集について

- 競技者招集場所は補助競技場入口付近に設置する。
- 招集時刻は、その競技開始時刻を基準として下記のように定める。

	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始25分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始40分前	競技開始30分前
棒高跳	競技開始50分前	競技開始40分前

(3) 招集の手順

- 競技者は招集開始時刻に集合し完了時刻までに点呼を受ける。その際、アスリートビブス・腰ゼッケン・スパイクピンの長さ（走高跳12mm以下、その他は9mm以下、先端が鋭利なもの（ニードルピンなど）は不可）・衣類および競技場内への持込物品等の点検を受けたあと、係員の誘導に従って入場する。
- 招集完了時刻に遅れた者は、当該種目を棄権したものととして処理する。
- 2種目に出場し、競技時間や招集時間が重なっている場合は、あらかじめ本人が文書を添えて申し出ること。用紙は招集場所に準備される。
- 競技への出場をやむを得ず棄権する時は、招集開始時刻までに当該選手の監督もしくは選手本人がその旨を競技者係に申し出ること。

3. TR5 競技用靴の対応について

本大会はTR5.2（TR5：競技用靴）を適応する。
規定シューズ以外のものを使用している場合は出場不可もしくは失格とする。

4. 競技運営について

- トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載の番号で示す。
- トラック競技の計時は写真判定(1/100秒)とし、同記録の場合は、より細かく優劣を判定して順位を決定する。(1/1000秒で確認する)
- トラック競技のスタートにおいて競技者は、最終の用意の姿勢をとった後、信号器の発射音を聞くまでスタート動作を開始してはならない。競技者が少しでも早く動作を開始したとスターター（あるいはリコーラー）が判断したときは不正スタートとなる。
- スタートについては、『イングリッシュコマンドとし、1回目に不正スタートをした者を失格』とする。
- リレー競技のマーカ―は1カ所とし、各自で準備した粘着テープ等を使用する。なお、使用したマーカ―は前走者が撤去すること。
- リレーチームの編成メンバーは、その競技会にリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場できる。ただし、少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者であること。
- リレーチームの編成（オーダー用紙）は、競技開始時刻1時間前までに各校代表者1名が本部記録室に提出する。
- 競技者に対する助力については、TR6.を適用するので十分に気をつけること。
- 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン到着後も自分に割り当てられた走路を走ること。
- 競技場での競技前の跳躍・投擲練習は、競技役員の指示によって行うこと。
- 2種目以上の競技に同時に出場するときは、審判長の判断で、フィールド競技については1ラウンドに一度、（走高跳・棒高跳については各試技に一度）試技順を変更して出場することができる。
- フィールド競技のマーカ―（主催者が準備したもの、または承認したもの）は、2個まで置くことができる。このようなマーカ―が準備されない場合は粘着テープ等を使用してもよい。
- ウォーミングアップは全て補助競技場で行うこと。砲丸・円盤を使っての投てき練習は、競技開始前の公式練習以外は一切禁止する。但し、補助競技場内にメディシンボール等を使った基本練習ができる区域を設ける。その他の場所では一切行わないこと。

（8時45分まではトラックでのウォーミングアップを許可するが、出場選手以外の使用は禁止する。）

- 800mは、オープンスタートとする。3000mは、2段階スタートとする。

(15) 跳躍競技のバーの上げ方は次の通りとする。

走高跳	男子	1m25（練習）	1m30	～1m60まで	5cmずつ	1m63以上	3cmずつ
走高跳	女子	1m10（練習）	1m15	～1m40まで	5cmずつ	1m43以上	3cmずつ
棒高跳	男子	1m80（練習）	2m00	～2m60まで	20cmずつ	2m70以上	10cmずつ
棒高跳	女子	1m60（練習）	1m80	～2m40まで	20cmずつ	2m50以上	10cmずつ

- (16) 競技に使用する用器具は、棒高跳用ポール以外は全て主催者が用意したものを使用しなければならない。
また、練習用としても個人の用器具（旗・ボールを含む）を競技場内に持ち込んで서는ならない。
- (17) フィールド競技については3回計測を行う。ただし、2回目以降の記録が1回目の記録に達しない場合は計測しないことがある。

5. アスリートビブスについて

- (1) 競技者は、競技中、胸と背にはっきりと見えるように2枚のアスリートビブスをつけなければならない。
跳躍種目については、胸または背につけるだけでもよい。アスリートビブスはプログラムに記載のものと
同じナンバーでなければならない。
- (2) トラック競技出場者は、腰ナンバーカードをランニングパンツ右側上部やや後方につける。
※短距離種目は各校で準備する。中長距離種目は招集時に受け取り、競技終了後フィニッシュ地点で返却する。

6. その他

- (1) 競技開始後の選手の出入りは補助競技場出入口（第2コーナー）、スタンド横南北ゲートのみとし、走幅跳・三段跳の選手以外は本部前の通行は禁止する。但し、朝は指定された出入り口を使用すること。
- (2) 選手・役員・補助員以外は競技場に立ち入ることはできない。付き添いは助力とみなされ失格の対象になる。
- (3) 貴重品の管理は各自で責任を持って行い、ゴミは各自・各校で必ず持ち帰ること。
- (4) 不審者や不審な行為を見つけた場合はすみやかに近くの競技役員に連絡すること。
- (5) 競技中に発生した傷害・疾病については、応急処置は主催者でおこなう。その後の処置については、各校の責任において、日本スポーツ振興センターの定めを適用する。
- (6) 遊びや、買い物で顧問の許可なく勝手に公園外に出たりしないこと。
- (7) 他校生とのトラブルに発展するような行為や、悪ふざけ等マナーの悪い行為は慎む。競技会に影響するような問題が発生した場合、当該校の出場を取りやめる処置をとる場合がある。
- (8) 選手は競技場内にて、携帯電話・スマートフォン等の電子機器の使用・撮影を行わないこと。